理事からのメッセージ



未来医学研究会への期待

未来医学と創造的教育

水野 均　Hitoshi Mizuno
株式会社ニコン　メディカル事業推進本部　副本部長

22年前に縁があってオリンパスで内視鏡の研究開発の仕事を担当することになりました。それまでは医療とは無関係の仕事をしていたので、医学の知識を一から学ばなければなりません。そんなとき、大変、幸運にも、入社直後にBMEカリキュラムを受講する機会を頂いたのです。ご案内のとおり、BMEでは、解剖や生理学の基礎から臨床医学、最先端の分子生物学や発生学、薬学に至るまで、幅広く包括的に医学を学びますが、右も左もわからない当時の私とって、BMEは道に迷っていたときに手にした地図のようなものでした。同時進行で、社内教育で内視鏡に関連する消化器や気管支分野の専門的知識を習得し、さらに、仕事での実践やBMEの仲間との交流を通じて、短期間に医学をどんどん吸収しました。この時期に学んだことが、内視鏡の研究開発に始まって、その後、再生医療や生体材料の事業開発に進み、海外の会社経営に携わるまでの経験において、大いに役に立ったと思います。

ところで、昨今、企業は短期志向に陥りがちで、人材の育成においても仕事をする上で必要な実践的教育に偏る傾向があります。しかし、世の中が激変するこんな時代だからこそ、将来の方向性を見出せる人材を育成する「創造的教育」が必要になっていると思います。BMEカリキュラムは、医療機器に携わる者にとっての創造的教育そのものです。BMEカリキュラムは、基礎を踏まえたうえで未来を展望するトレーニングの場です。企業の枠を超えた幅広い知識修得の場であり、オープンな異業種交流の場でもあります。これらはいずれも、創造的教育に不可欠な要素だと思います。

BMEカリキュラムにおける創造的教育の要素として、さらに強化すべき点があるとすれば、グローバルな視点かも知れません。中々、日本に居ながらグローバルな視点を身に付けることは難しいですが、その手段として次のようなことを考えてみました。BMEカリキュラムの現役とOBから希望者を募って、海外視察旅行を企画してはと思います。2泊3日程度で、海外の医療機器の企業、病院、BMEの研究施設を訪問するのです。アジアだったら2泊3日でも結構、回れますし、毎年、訪問国を変えれば、2、3年でかなりの見聞を広めることができます。未来医学研究会のOBや理事の方々のネットワークを使えば、受け入れ先を探すことは難しくないと思います。こうした、何か新しい試みを未来医学研究会が中心になって始めることで、グローバルな人材を育成し、日本の医療機器産業を益々元気することができればと願っております。

●略 歴

（学歴）
1981年　東京工業大学工学部機械工学科卒
1983年　東京工業大学大学院精密機械システム修士課程修了
1993年　東京女子医科大学第24期医用工学カリキュラム修了
2004年　豪州Bond大学 MBA修了

（職歴）
1983年　ファナック株式会社 入社、ロボット研究所課長
1992年　オリンパス株式会社 入社、内視鏡研究グループリーダー、医療新事業推進部長を経て
2004年　オリンパステルモバイオマテリアル株式会社を設立、代表取締役社長に就任
2011年　オリンパス株式会社 整形外科事業本部長 就任、オリンパスバイオテック米国法人 CEO & President 兼任
2013年　サンスター・グループ、執行役員
2015年2月1日より　株式会社ニコン　メディカル事業推進本部　副本部長　現在に至る

（受賞等）
1991年　機械振興協会賞受賞（産業用ロボットの開発）
1996年　日経BP賞受賞（触覚センサーの開発）